



十小だより

令和 6 年 9 月 3 0 日

第 6 号

府中市立府中第十小学校

自分で考え学ぶ力を付けるための授業を進めています

運動会が近付いてきました。子どもたちはそれぞれのめあてややりたい自分の姿をもって、練習に取り組んでいます。うれしそうに「ダンスリーダーになった」「ダンス、見てね」など人の前に立つことを楽しみにしている子もたくさんいます。練習もがんばっています。本番では、多くの保護者の方も見てくださいるので、一層、力も入ることでしょう。運動会の子どもたちの姿を見るのが楽しみです。保護者の皆さまも、お子さんの学年に関わらず、一生懸命に取り組む子どもたちへの声援をお願いします。

10月には、運動会の他にも、6年生は、日光移動教室や陸上記録会などのイベントがあります。他学年も校外学習やゲストティーチャーを招いた学習など、体験的な学習の機会があります。ぜひ、座学では学べないものを感じてほしいと思います。

さて、10月には他にも小中連携の取組があります。府中十小は、白糸台小、府中二中が連携校となっています。10月16日には、取組の一環として、二校の先生方が府中十小の授業の様子を参観に来ます。他校の先生方に見ていただきたい、子どもたちの姿はいろいろあるのですが、一番見てほしいのは子どもたちが「自分で学ぶ姿」です。校内研究として、読解力の向上に取り組んでいて、1・2年生は国語、3年生以上は社会科を中心に先生方が指導方法を工夫しています。中でも、4年生以上は、学習の見通しをもって、自分で調べてまとめる学習が定着してきています。子どもたちは、「もっと調べたい」となって、毎回、時間が足りないのが悩みの種というほど意欲的です。本当によく学習していて、感心します。教科書や副読本、資料集、ホームページなどを活用して、自分で課題を解決することを楽しんでいる府中十小らしい子どもの学びを紹介したいと思っています。

ちなみに、「二中学区目指す子供像」というのがあり、

家庭学習をしよう (主体的に学習に取り組む子)

たくさん本を読もう (読書に親しむ子)

気持ちよいあいさつをしよう (礼儀正しく、気持ち良い挨拶ができる子)

進んで運動しよう (進んで運動に取り組み、体力を高めようとする子)

となっています。

読解力の基礎は、文章を読む力です。秋を感じる時期が短くなってきていますが、「読書の秋」ということで、意図的に本を読む時間をつくることも、大切な家庭学習の一つではないでしょうか。ただ、本を読みなさいと呼びかけても、日常的に読書習慣がない子はなかなか取り組めないと思います。テレビやゲームから離れる時間を設けないとうまくいかないかもしれません。特に、大人がテレビを見ながらスマホを触っている環境で子どもだけに本を読ませるのは、難しいでしょう。ですから、ぜひ、読書の秋に、保護者の方も一緒にデジタルデトックスの時間を設けて、本を読んではいかがでしょうか。

インクルーシブ運動会は、日本財団パラスポーツサポートセンターが開発した車椅子を全国に先駆けて府中市に贈呈されたものを使った車いすリレー(6年生)やパラアスリートと踊る全国初披露目のインクルーシブソーラン(4年生)を行います。

そのため、運動会当日は、日本財団パラサポなどによる取材が行われますので、ご了承ください。